



樹脂材料のき裂伝播特性評価

樹脂材料のき裂伝播特性を様々な温度条件、湿度条件で評価いたします。

き裂進展試験適用規格

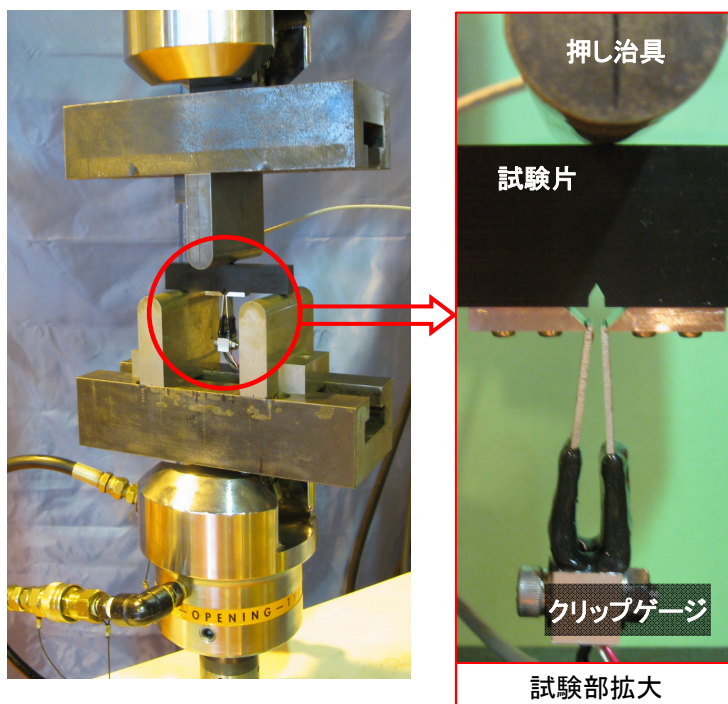
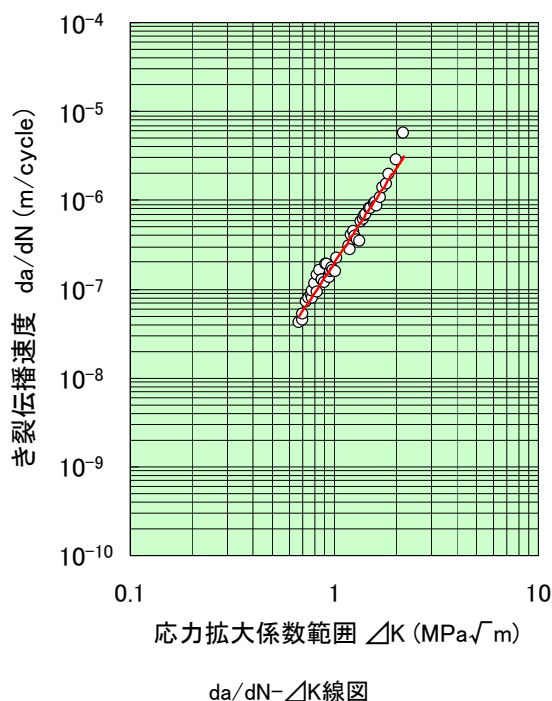
- ASTM E 647 - 00 : 疲労き裂伝播速度の測定のための標準試験方法
ただし、
 - ・CT試験片と3点曲げ試験片に対応
 - ・き裂測定はコンプライアンス法のみ
 - ・K値の増減方法は、荷重一定、K値線形スムーズ増減、K値ステップ増減に対応

試験条件

- 負荷荷重範囲 : 最大10kN
- 試験湿度 : 45%~75%
- 試験温度 : -40°C~+250°C
- 適用可能樹脂 : アクリル、ポリカーボネート、ABS (他の樹脂についてはあらかじめご相談ください)

評価事例

- 材料 : ABS
- 試験片形状 : 3点曲げ試験片 厚さ=10mm 幅=20mm
- 雰囲気 : 室温
- き裂長さ : クリップゲージの開口変位量より換算
- 規格 : ASTM E 647 - 00



き裂伝播試験状況

